

2020年 日中韓都市間文化交流事業 実施報告

1 日中韓都市間交流事業について

2014年から始まった「東アジア文化都市」事業の初代開催都市として、横浜市と中国の泉州市、韓国の光州広域市は、多くの文化芸術イベントを通じて1年間活発に交流を行いました。同年11月には、3都市で「東アジア文化都市 友好協力都市協定」を締結。2015年以降も文化芸術を通じた交流を継続していくことを確認し合いました。これに基づき、中国泉州市、韓国光州広域市とアーティストや芸術団体等の相互派遣を通じた都市間交流事業を毎年実施しています。

東アジア文化都市

日中韓文化大臣会合での合意に基づき、日本・中国・韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するものです。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多彩な文化の国際発信力の強化を目指しています。



【東アジア文化都市一覧】

	日本	中国	韓国
H26(2014)	横浜市	泉州市	光州(カンジュ)広域市
H27(2015)	新潟市	青島(チンタオ)市	清州(チョンジュ)市
H28(2016)	奈良市	寧波(ニンポー)市	済州(チェジュ)特別自治道
H29(2017)	京都市	長沙市	大邱(テグ)広域市
H30(2018)	金沢市	ハルビン市	釜山(プサン)広域市
H31(2019)	豊島区	西安(シーアン)市	仁川(インチョン)広域市
R2(2020)	北九州市	揚州(ヤンチョウ)市	順天(スンチョン)市
R3(2021)	北九州市	紹興市、敦煌(ドンファン)市	順天(スンチョン)市

2 2020年の実施内容について

新型コロナウイルスの影響により、例年実施しているアーティストや芸術団体の実際の派遣や招へいを通じた交流事業は実施することができない中、3都市間でのコミュニケーションを継続し、オンライン等を活用したコロナ禍ならではの交流事業を実施しました。

(1) 日中韓都市間文化交流事業 PR 動画作成

中国泉州市・韓国光州広域市と、2014年から継続して実施している日中韓都市間文化交流事業における、コロナ禍における新たな取組として、3都市共同プロジェクトとしてPR動画を作成しました。東アジア文化都市事業におけるこれまでの3都市間の交流を踏まえた友好関係や、それぞれの都市の街なみや文化芸術の魅力を広くPRする映像としました。

ア 映像について

(ア) タイトル

「映像芸術でご挨拶」

(イ) 概要

各都市広報映像、各都市の文化関係所管局長による挨拶、各都市芸術団による公演映像

イ 映像の公開について

(ア) 期間

令和2年11月18日(水)から

(イ) 公開先

YouTube : <https://youtu.be/mvh78msfrIw>

(ウ) 広報先

YouTubeでの配信後、リンクを報道、メール、カカオトーク、ライン、ウィーチャットなどで広報しました。東アジア文化都市歴代各都市(20都市)に映像を納めたUSBを提供するほか、日中韓3国協力事務局など関連機関へも配布しました。



横浜市の芸術団による講演
舞神「Beauty and the Beast」



中国泉州市の芸術団による公演
泉州市民南歌舞伝承団 群舞「糸海妙音」



韓国光州広域市の芸術団による公演
林芝亨光州現代舞踊団「Mudeung Fantasy Arirang」

(2) 【済州特別自治道イベント】「第59回タムナ文化祭連携国際文化交流フェスティバル」

平成28(2016)年の東アジア文化都市である済州特別自治道(韓国)から依頼があり、タムナ文化祭連携国際文化交流フェスティバルへの写真作品提供を行いました。例年、タムナ文化祭においてはアーティストによる公演等を行っていましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、非対面でのイベント実施となりました。横浜市を中心に活動している写真家から作品提供をいただき、現地での作品展示のほか、特設Webサイトにおける配信やYouTubeでの映像配信を行いました。

第59回タムナ文化祭連携国際文化交流フェスティバル ～「COVID19&HUMAN」国際写真交流展～

ア フェスティバル概要

(ア) 展示期間

令和2年9月18日～10月11日(23日間)

(イ) 主催

済州特別自治道文化政策課、済州芸総、済州写真作家協会

(ウ) 展示会場

済州石文化公園 ギャラリー

※現地での展示のほか、特設Webサイト(オンラインギャラリー)における配信も実施しました。

(http://www.gallery.jejupask.com/index.php/contents/permanent_ex?act=view&idx=4&type=intro)

(エ) 映像配信


YouTube : <https://www.youtube.com/watch?v=ZgvecYKnBSI>

イ 横浜市からの参加アーティスト

細淵太麻紀

※横浜市に数多くのクリエイター誘致を行ってきたBankARTに、横浜市を中心に活動している写真家の選定を依頼しました。

 <p>코로나19 속에서의 현장과 예술(3) 호소부시타마키(일본)</p>	 <p>매년 탐라문화제 행사로 이루어지던 “국제예술교류사업”이 올해는 코로나19 확산으로 인해</p>
<p>作品「横浜のコロナに関する現場×芸術」 細淵太麻紀 (オンラインギャラリーから抜粋)</p>	<p>写真交流展の様子 (YouTube から抜粋)</p>

	
<p>『庭の向こう側』チャン・ジェヨプ 展示作品</p>	<p>作品制作の様子</p>

(4) 【創造界限拠点交流事業】

「東アジア文化都市 2014 横浜」の開催をきっかけに、横浜市内の創造界限拠点を通じた、泉州市、光州広域市との交流を毎年実施しています。2016 年以降は光州広域市のアトスペース SpacePpong とアーティスト・イン・レジデンス (AIR) 交換プログラムを実施することで交流を深めてきました。コロナ禍により実際の人の往来が困難となった現在、新しい国際文化交流のあり方を目指し、完全リモートによるプログラムを企画しました。

ア 「黄金町×光州 オンライン交流プログラム」

黄金町と SpacePpong でレジデンスやインターンを経験したアーティストによる、完全リモートの作品制作等を実施しました。両都市のアーティストが、それぞれ訪れたことのない場所について調査、想像し、作品を制作しました。

(ア) 期間

令和 2 年 11 月～令和 3 年 3 月

(イ) 実施内容

過去に黄金町と Space Ppong でのレジデンスを経験したアーティストがそれぞれサポートチームを結成し、オンラインミーティングを重ねながら、チャン・ジェヨプ氏と常木理早氏のイメージを汲み取り、作品を完成させました。

(ウ) プログラム参加アーティスト

制作場所	黄金町	光州広域市
アーティスト	チャン・ジェヨプ (光州広域市)	常木理早 (黄金町)
サポートアーティスト	椎葉良太 (2017 年光州滞在) 葉栗 翠 (2018 年光州滞在) 金子未弥 (2019 年光州滞在)	イ・インソン (2014 年黄金町滞在) イ・セヒョン (2017 年黄金町滞在)
交流サポート	ハン・テーホ キム・ガウン	チャン・ジェヨプ

イ 成果展示会「東アジア文化都市交流『庭の向こう側』チャン・ジェヨプ」

黄金町における「黄金町×光州 オンライン交流プログラム」の成果展示会を実施しました。人類と自然の共生をテーマとしたメイン作品に加え、リサーチから制作までの交流のプロセスを展示しました。

(ア) 会期

令和 3 年 3 月 5 日 (金) ～14 日 (日)

(イ) 会場

黄金町エリアマネジメントセンター
高架下スタジオ Site-A ギャラリー

ウ 成果展示会「東アジア文化都市交流『庭の向こう側—端緒』常木理早」

光州広域市における「黄金町×光州 オンライン交流プログラム」の成果展示会を実施しました。コミュニケーションの過程で意味の変容や内容の変質が起きる現象に焦点をあて、多様性をみえるようにすることをテーマとした作品を制作しました。

(ア) 会期

令和 3 年 3 月 5 日 (金) ～18 日 (木)

(イ) 会場

Space Ppong (韓国光州広域市)

	
<p>『庭の向こう側—端緒』常木理早 展示作品</p>	<p>アーカイブ展示の様子</p>

(5) 【その他】

文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業「東アジア文化都市に係る成果と今後の在り方に関する調査研究」の実施に当たり、調査分析の計画の立案、調査項目等の調整、シンポジウム開催準備を行う「東アジア文化都市事業研究会」が主催となり、国内の東アジア文化都市開催自治体の担当者による、東アジア文化都市開催におけるメリット・課題・改善点、開催後の継続的な中韓等との交流の取組の意義、今後の方策等についてのヒアリング及び意見交換を目的とした連絡会及びオンライン参加を主軸とした公開シンポジウムを開催した。

ア 「東アジア文化都市 担当者連絡会」

令和 2 年 11 月 30 日、同志社大学 今出川校地

イ 文化庁・同志社大学共同研究シンポジウム「東アジア文化都市の到達点と今後の課題」

令和 3 年 2 月 22 日、同志社大学 今出川校地